

前回協議会における主な意見とその対応について

整理 番号	前回協議会時の主な提案・発言	対 応
1	アンケートの実施に時間をかけ過ぎではないか。防災のことであり、スピード感を持ち、前倒し出来る方法を検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ “ 「配達地域指定郵便物サービス」 を用いた郵送による調査 ” により実施することで、前倒しを図った。 ・ アンケートの解析結果は、11月20日の第4回幹事会において共有した。
2	烏川より利根川が氾濫した場合を気にする住民が多くいることが予想される。アンケートはそういった住民に対応する内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ あくまでも烏川・神流川直轄区間の堤防決壊等を起因とした浸水想定区域の居住者を対象として、住民の意識調査（アンケート）を行った。
3	「普及啓発」が必要なものは、協議会の枠組みを活用して幅広く普及啓発を図ることはできないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年11月20日の第4回幹事会において、「機関を超えた『機会』（目的やスケジュール）の共有を行い、幅広く普及啓発に取り組んでいく」ことを提案し、了承された。